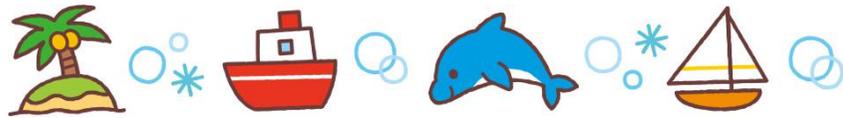




2023.8.1 黒木保育園

たくさんの水しぶきをあげて、楽しそうにプールで遊ぶ子ども達の笑顔に夏本番を感じます。心地よい水の感触を全身で楽しんでいる毎日です。

先日の夏祭り・マルシェにはお忙しい中、たくさんの御参加頂きましてありがとうございました。歌やダンスを披露したり、おうちの方と一緒にゲームをしたりと子ども達の楽しそうな姿や笑顔をたくさん見ることができとてもうれしく思います。ありがとうございました。



8月の予定

月	火	水	木	金	土
	1 ダンス	2 園外保育	3 英語 スイミング	4	5
7 七夕祭り	8 ダンス	9 書道	10 英語	11	12
14 希望保育	15 希望保育	16	17 英語 スイミング	18	19 愛情弁当の日
21	22 ダンス	23 書道	24 地藏盆・英語 スイミング	25	26
28	29 ダンス	30	31 災害避難訓練		

夏にかかりやすい感染症と感染経路

7月～9月に流行する感染症は、「手足口病」「ヘルパンギーナ」「アデノウィルス（プール熱）」が3大夏風邪と言われています。風邪や感染症にかかるのは冬ばかりと思いがちですが、実はインフルエンザが流行する1月～3月と、真夏の7月～9月の患者数は殆ど変わりません。夏も熱を出す人は多く、その年によって、手足口病・ヘルパンギーナ、プール熱など流行の波があるそうです。

免疫が発達していない子供は特に夏風邪などの感染症にかかりやすく、保育園に通い始めたばかりの頃はまだ免疫があまりないため、最初の一年間は次から次へと感染症にかかるものです。学級閉鎖や夏休みが無い保育園では、流行が終息するタイミングがなくノンストップで長く続く傾向にあります。大人なら感染しても症状が出ない感染症でも、子供は熱を出したり、のどが腫れたりしやすく、特に3歳以下の子供はまだ頭が小さいのでそのぶん鼻や喉を通る気管が細いので、鼻水や痰がちょっとつまただけでも息苦しくなります。そのため、眠れない、飲めない、食べられないといった辛い症状が出やすいのも特徴です。

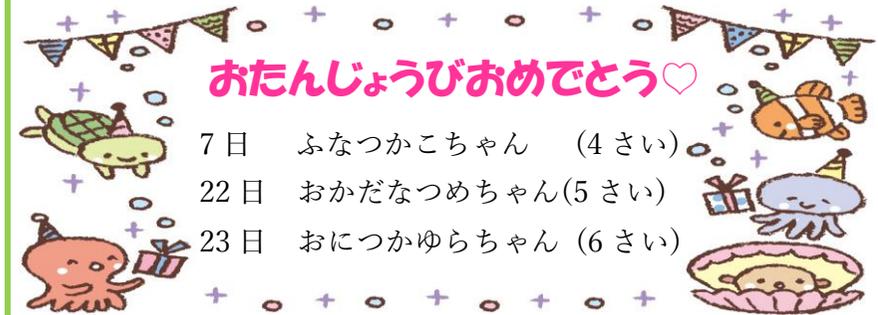
夏風邪のウイルスは体内に3～4週間潜伏し、便と一緒に排出されます。潜伏期間はずっとウイルスが排出され続けていますから、特に唾液や、手の接触、おむつ替えなどで人から人へ移りやすいと言われています。接触感染で移りますので、集団感染を防ぐためにも病院へ行くことが大切です。また、夏風邪は子供がかかるものと思いがちですが、子供からその家族へと感染が広がることもあります。高温多湿の夏は夏風邪の原因となるウイルスや菌が増殖しやすく、かつ夏バテや疲れなどで体力が落ちているときは、高齢者を含めた大人も注意が必要です。



8月7日（月）に七夕まつりを行います。本日、短冊を1人2枚持ち帰っていますので、お子様やご家族の方の願い事を書いて5日（土）までにお子様を持たせてください。



今月より、たんぽぽ組さんに、はしむらりつきくんが入園されました。よろしくお祈りします。



- 7日 ふなつかこちゃん（4さい）
- 22日 おかだなつめちゃん（5さい）
- 23日 おにつかゆらちゃん（6さい）

おしらせ

- 辻美喜先生が8月中旬より産休に入られます。よろしくお祈りいたします。
- 課外活動の引率にイトマンスイミングスクールさんのご厚意で職員が行かせていただいておりますが、8月を持ちまして保育園職員の引率は終了となります。

お願い

連日暑い日が続く、熱中症の危険性が高くなっています。また日差しで遊具もとても熱くなりますので、降園後は園庭では遊ばず、速やかに帰園いただきますようよろしくお願いいたします。